

ブレインストーム

BRAINSTORM カラー作品 MGM/UA作品 書 CIG配給  DD DOLBY STEREO

クリストファー・ウォーケン
ナタリー・ウッド
ルイズ・フレッチャー
クリフ・ロバートソン

製作・監督 ダグラス・トランブル
脚本 ロバート・スティッツェル／フィリップ・フランク・メッシーナ
撮影 リチャード・ユーリチック
音楽 ジェームズ・ホーナー (サントラ盤・ピクチャレコード)

愛・記憶・未来……

あらゆる意識下の世界が
あなたを直撃する
驚異のコンピュータ・マシン!

『2001年宇宙の旅』の
ダグラス・トランブルが描くMIND TRIPの世界!!

マインド・トリップ

クリストファー・ウォーケン
ナタリー・ウッド
ルイズ・フレッチャー
クリフ・ロバートソン

ブレインストーム

製作・監督 ダグラス・トランブル
脚本 ロバート・スティッツェル
フィリップ・フランク・メッシーナ
撮影 リチャード・ユーリチック
音楽 ジェームズ・ホーナー
(サントラ盤・ビクター・レコード)

■カラー作品 MGM UA作品
CIC配給

◎ニュー・メディア時代を斬る スーパースペース

シリコン・バレーと並ぶ全米高度先端技術のメッカ、ノースカロライナ州のある研究所で、いましも、とてつもないマシーンが完成した。人間センサーに最新コンピュータをドッキングさせたその装置は、一人の人間の思考・記憶・肉体的感覚を、他人がまったく同様に再生体験できるといふ驚異の知覚伝導体。研究にたずさわった科学者たちにとっては、次代のコミュニケーションを切り拓く夢の実現だった。だが、その喜びとは裏腹に、恐るべき陰謀が一方で進行していた。

もし、人間を洗脳することが出来、そこから敵攻撃を自在に指令できるとしたら……。新装置の軍事用途に軍部が目を付けた時、巨大なサスペンスが動き出した。「ウォークゲーム」に続き、そのバツグンのアイデアで、全米をノックアウトしたSFサスペンス。ニュー・メディアを先取りしたケタ外れのエンターテインメントだ！

◎映画史上初めて視覚化された 究極の未来体験

カーレース、ローラーコースター、ハイウェイ、アイスロープ、サーフライド、スカイ・ランデブー……etc. まるで、その場にいるような感覚で、眼前に展開するパノラミックな映像。ブレインストームはまさにワンダー体験の連続だ。

が、ドラマのハイライトは、そんな子供だましの映像だけではない。「死」——人間の死の瞬間とは果してどんなものなのか？映画史上初めて記録された死の映像が凄惨な話題。キミのセンサーは、このドッキリ体験にどこまでついてこれるか？！

◎特撮表現の限界に挑んだ ハイ・テック集団！

「2001年宇宙の旅」(67)、「アンドロメダ」(69)、「未知との遭遇」(77)、「スター・トレック」(79)、「ブレードランナー」(82)そして「ブレインストーム」——監督ダグラス・トランブルの足跡は、そのままハリウッド特撮技術の発展だ。人工頭脳、超伝導体など、急速な進歩を遂げる科学テクノロジーにヒントを得たB・J・ルービンの原作を、70年の幻の名作「サイレント・ランニング」に続いて2度目の演出。自ら率いるハリウッド特撮集団「E.E.G」の最新技術のすべてを投入して、スリリングな画面を生み出している。

◎いま、劇場が驚異の テクノスペースになる！！

キャストは、「ブレインストーム」開発に命を賭ける若き科学者に「ディア・ハンター」のクリストファー・ウォーケン、その同僚に「カッコーの巣の上で」のルイズ・フレッチャー、研究開発会社のオーナーに「まごころを君に」のクリフ・ロバートソン、そして、ウォーケンの妻に、惜しくもこの作品が遺作となったナタリー・ウッド。

パナビジョン・レンズと70ミリ・フィルムの効果をも最大限に発揮したリチャード・ユーリチックの撮影、ジェームズ・ホーナー「スター・トレック2/カーンの逆襲」サスペンス・サウンドで、いま劇場は、驚異のテクノスペースにこそ変え！

ゴールデンウィーク

4月14日(土) G・Wロードショー!

伊勢丹前・シネタウン

新宿スカラ座

(351)
3127

日・祝	10:10	12:25	2:40	4:55	7:10
平日		12:25	2:40	4:55	7:10

お得な特別鑑賞券好評発売中！

一般券1,200円(当日1,500円の処) 学生券1,100円(当日1,300円の処)